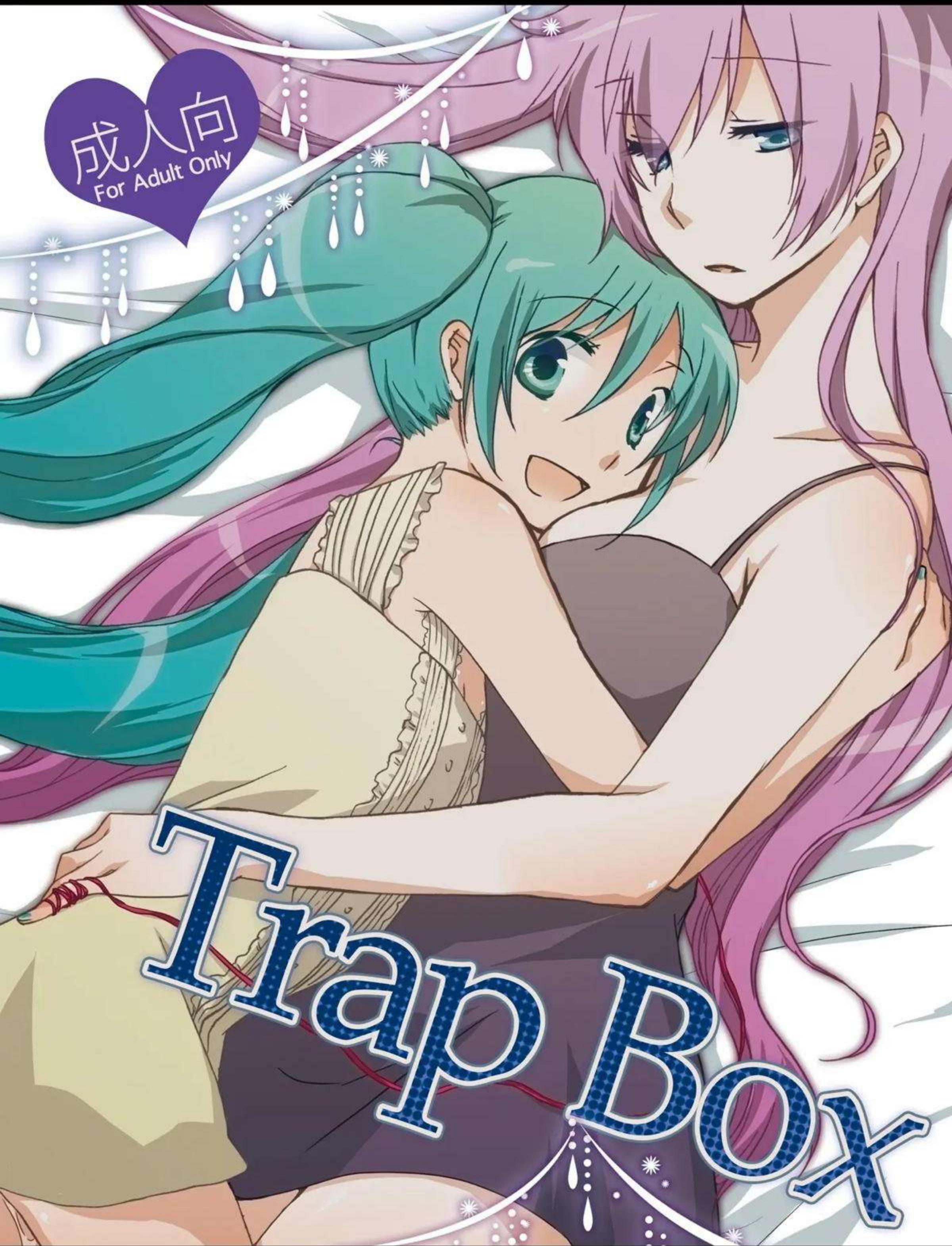
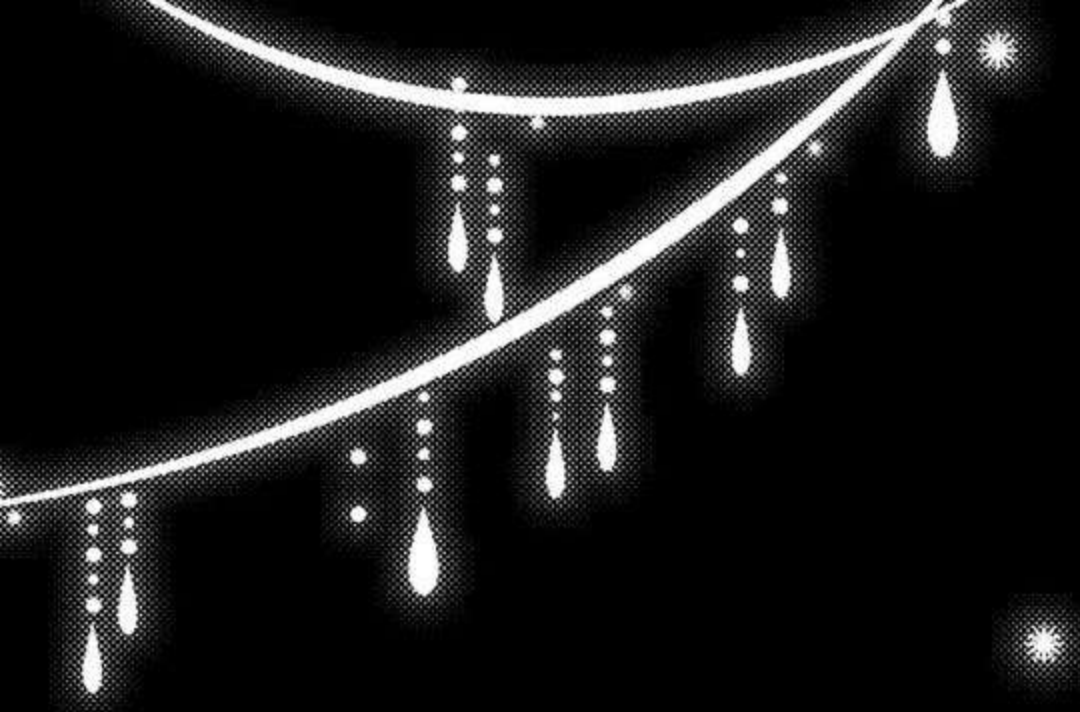


成人向
For Adult Only

Trap Box





* ご注意 *

これはガチ百合ルカ→ノンケミクな女子同士の恋愛の本です。
百合表現・清純びっち・成人向要素を含みますので
苦手な方はご注意ください。
なお18歳未満の方(高校生不可)の閲覧・購読はご遠慮ください。
すべてご理解いただけましたら本文へどうぞ。



はじめましてこんにちは。せきはら海奈と申します。
せきと名乗ってたりもします。

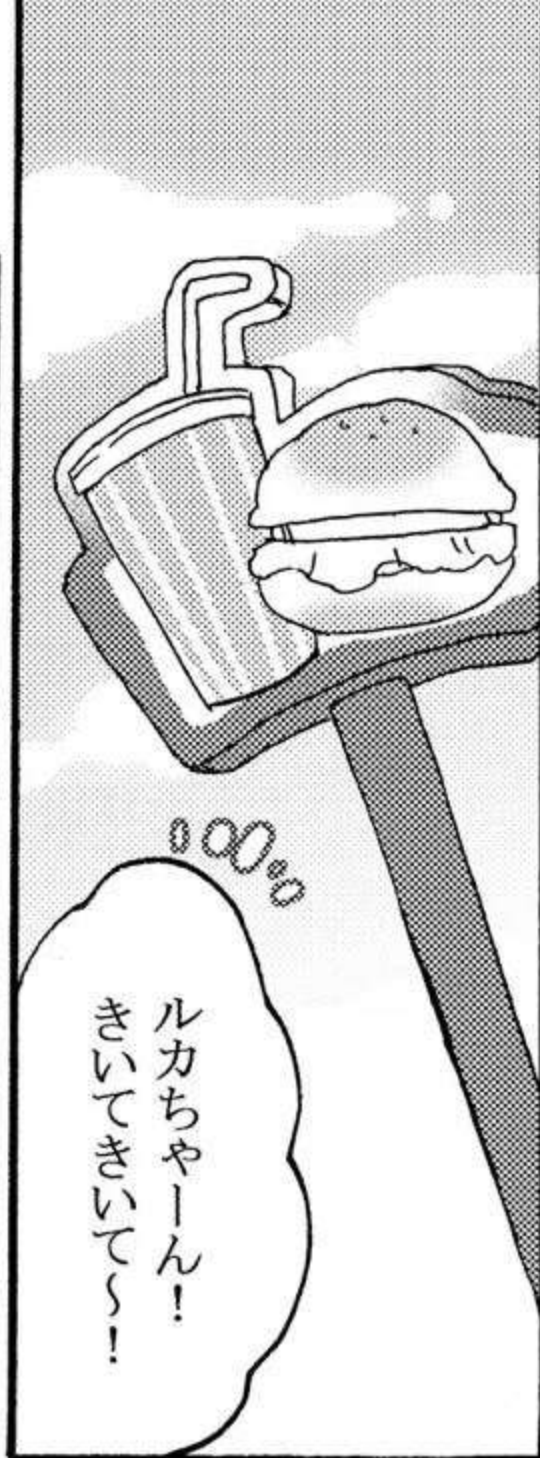
前回のリンミクに続き今回はルカミクです。
ラブイチャというよりもルカ→ミクな感じの現代パロ設定なので
苦手な方はお気をつけ下さいませ…!

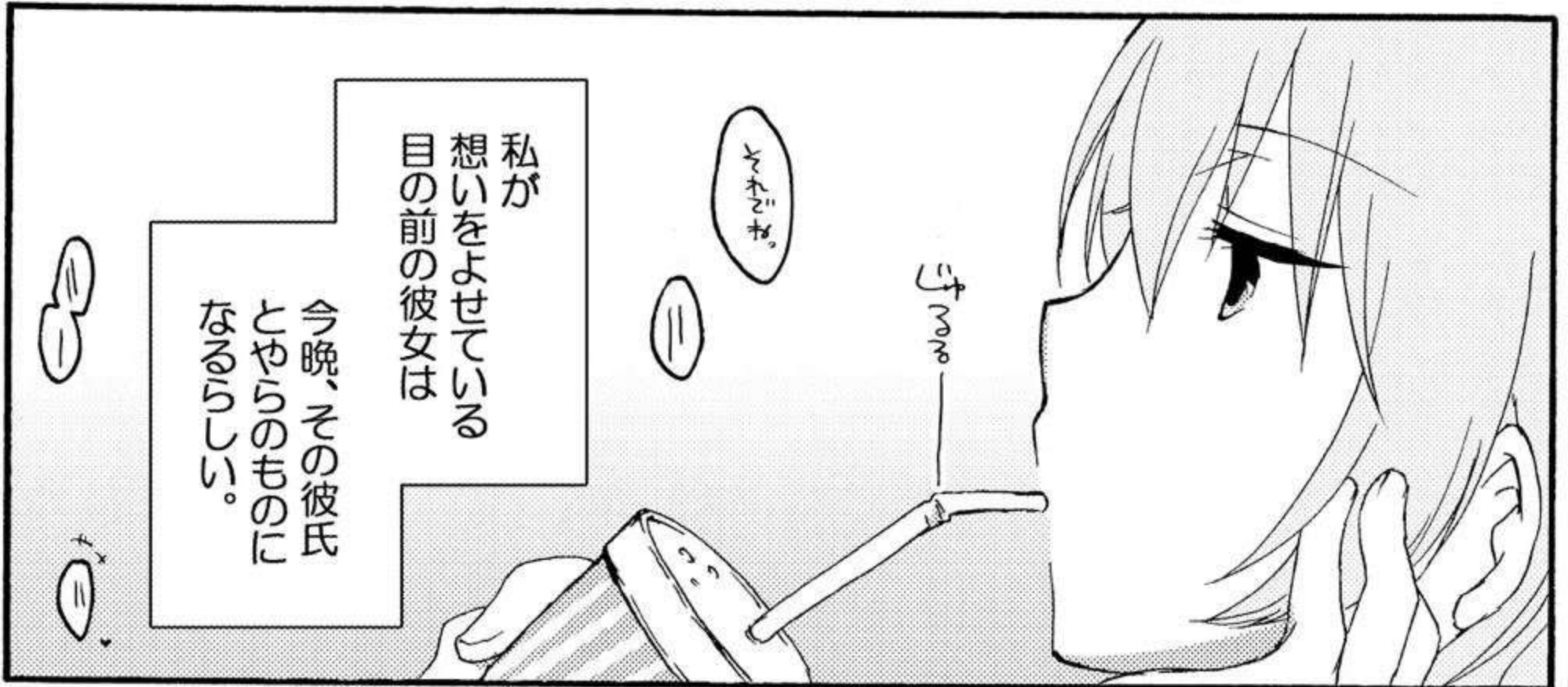
少しでも楽しんでいただけたら幸いです。
それではまたあとがきで。

【 ルカちゃん & ミク 】

- *二人は幼馴染
- *二人共両親は共働きで
小さい頃からルカちゃんが
ミクの面倒を見ていた。







期待に胸をふくらませ
彼女とはうらはらに
私の心は重たかった



想いを秘めたまま
友人として
側にいる限り

いつかはこんな日が
来るとは思っていた

多分明日になれば
今夜あったことを色々と
報告してくれるんだろう



——いつもと
変わらぬ
笑顔で。



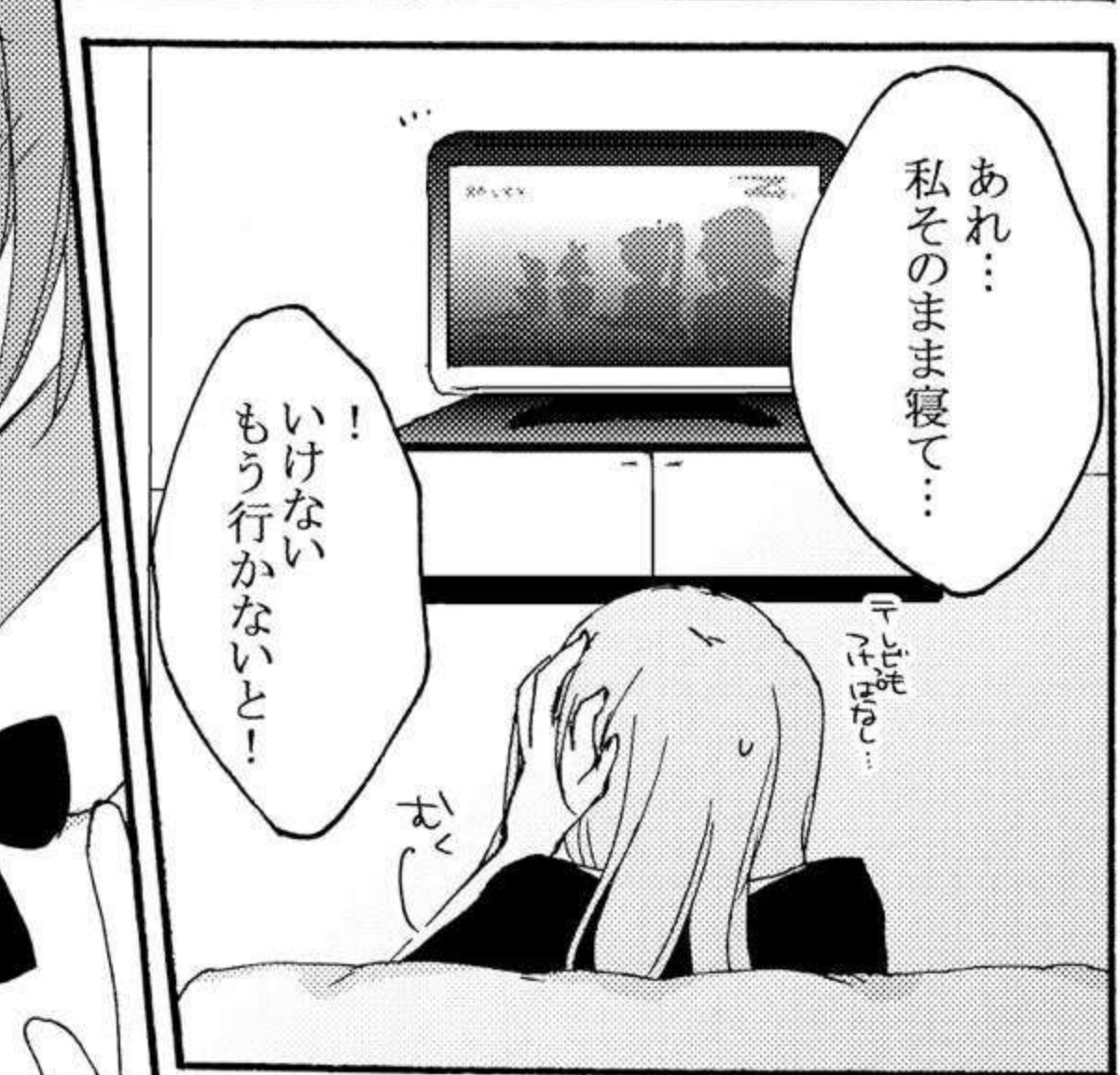
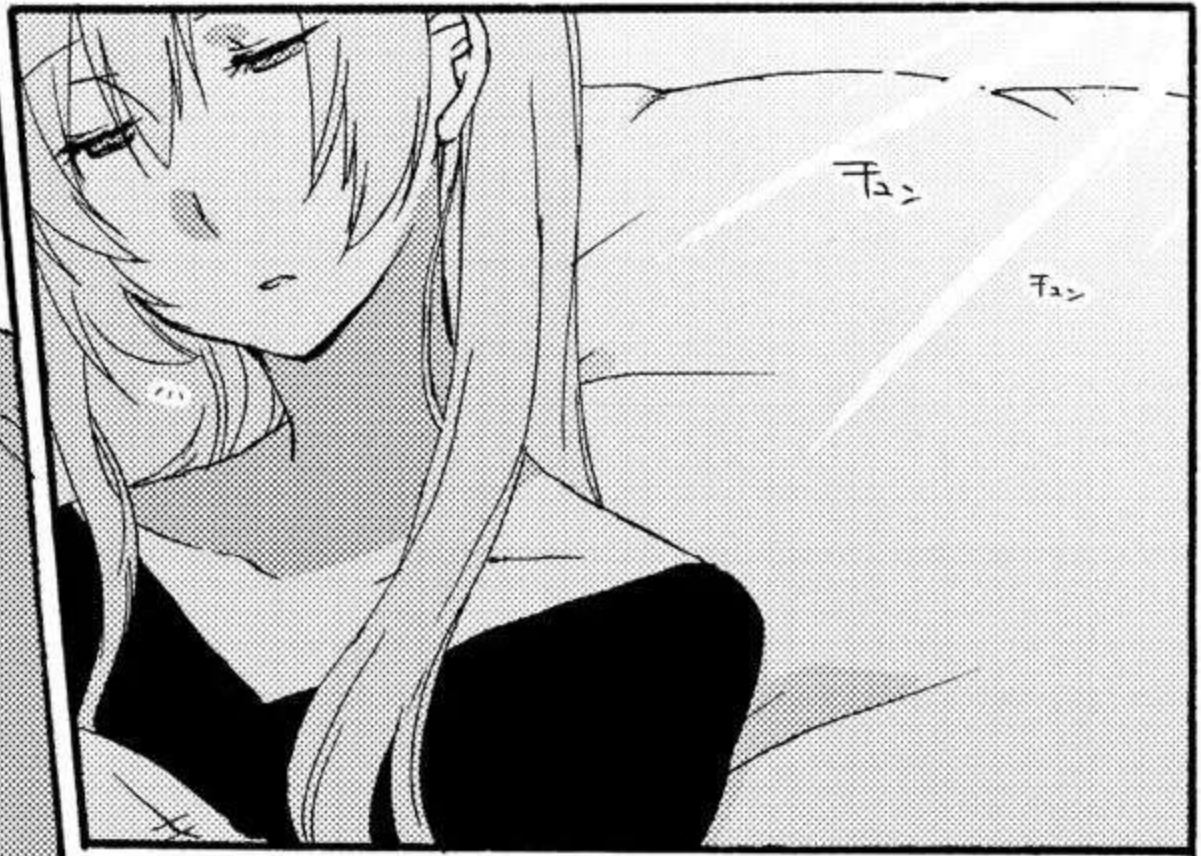
実は結構覚悟は
していたつもりだった

こんな日が来るのを
予想して何度も
シミュレーションもしてみた。

——でも、

実際は
私が想像していたよりも
遥かに

——胸が、そして心が……痛かった。





— その

満面の笑みで
昨日は上手くいったんだと
すぐわかった



…ごめん
待った？



歩きながら
昨日あったことを
恥ずかしそうに



でもとても嬉しかった
話してくれた。



ううん、
大丈夫だよ
私も今来たところ！

それより
ルカちゃん
あのね…





それから度々
報告を受け、二人は
順調に付き合っ
ているようだった



ルカちゃん！

000

かこちゃん！

私は彼女の
ただの幼馴染であり、
この距離が縮むことは
無くて

彼女が幸せなら
それでいいと思ってた。

それから
数カ月後の
あの日までは……

——え？
浮気……？



あ、あのね今日
家に行ったら...

知らない
女の子...が
いつ...て

わた...しっ
わけわかんなくっ
なっちゃって...



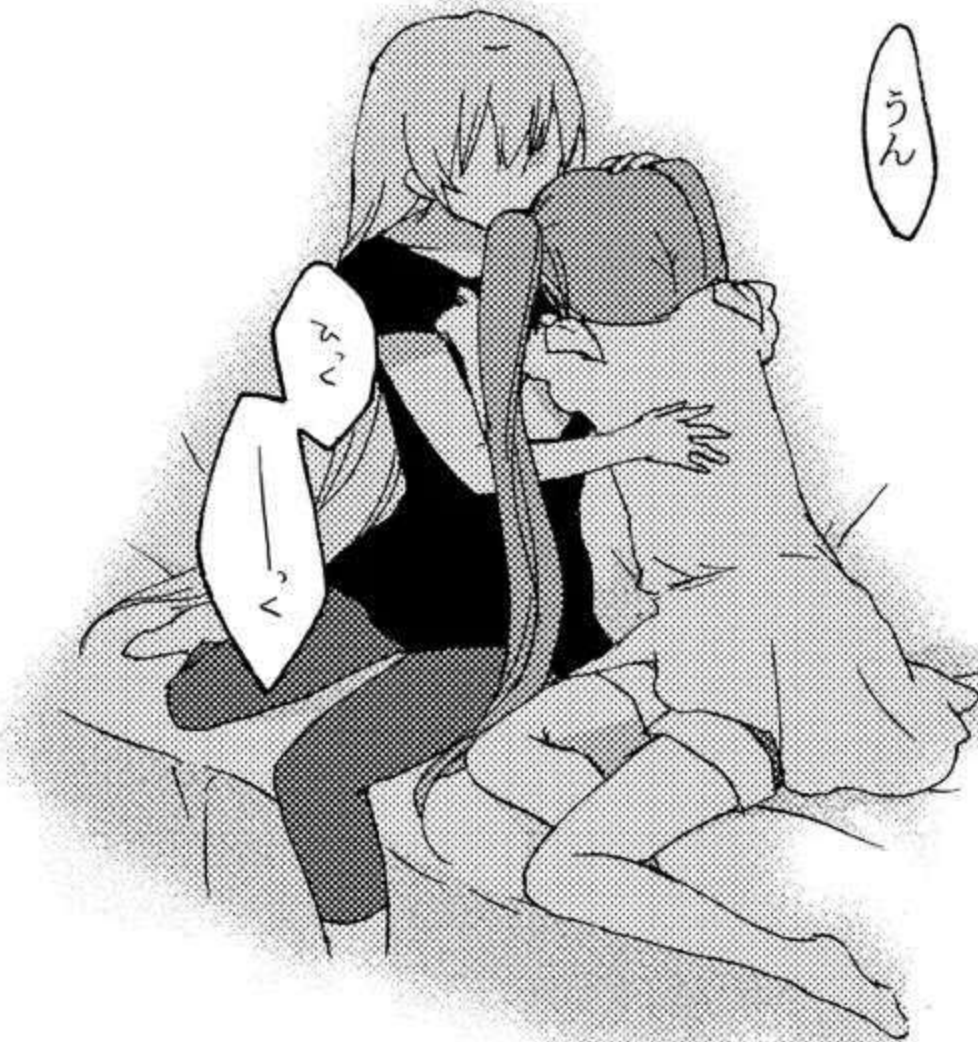
う...んっ

うん



ルカちゃん...

う...



うん

その場ですぐ別れも
告げられたらしい。

どうやら彼氏には
別の女がいた...

というよりも
ミク自身が
遊び相手だったようで

私がどう足掻いても
手にすることの
出来なかった彼女を



弄び、そしてあっさり
手放した男を

当然許すことなど
出来る訳もなく
煮えるような気持ちで
いっぱいだったのだが

余計なことまで
ロクして
しまっただけ

ただただ、
彼女をなぐさめていた

——落ち着いた？



ま...ま...

ま...

ま...ま...

ま...

なあに？



あ...えとつ

ルカちゃんに
彼氏が出来ちゃったら



こうやって
なくさめてもらったり
出来なくなっちゃうんだ
つて思ったら

さみしく
なっちゃった



そうやって貴方は
あつという間に
私の心を乱して、

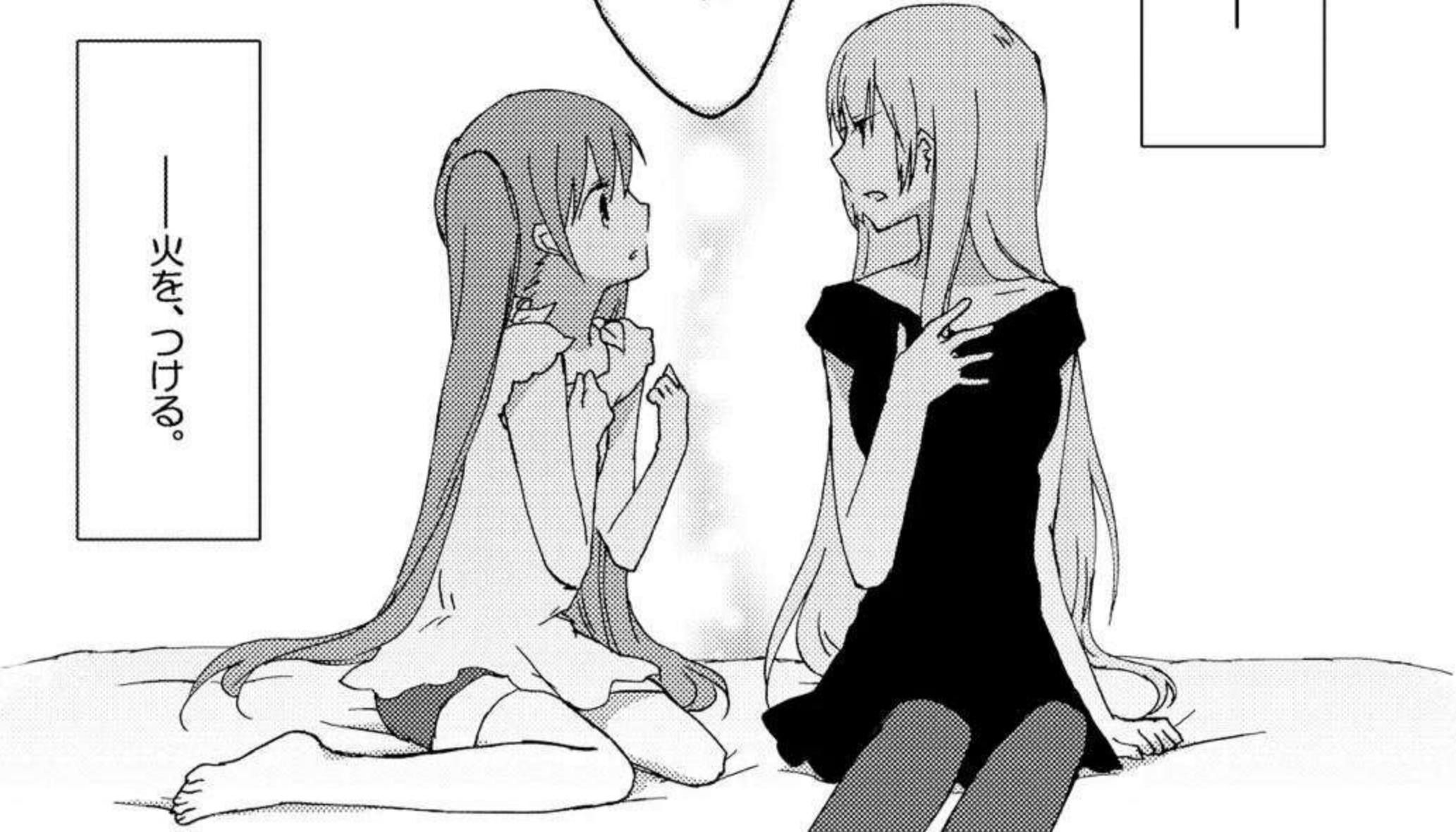
早くルカちゃん
みたいに
優しくしてくれる
彼氏見つけないとね！



—じゃあ
私を恋人に
すればいい

枷を外し、—

—火を、つける。



—え？

私、彼氏をつて
言ったのに
どうしてルカちゃん
が恋人になっちゃうの？

今まで黙ってたけど
—貴方の事、
好きなの。

私も好きだよ
ルカちゃんが
恋人だったら
きっと楽しいよね

茶化さないで。

本当に
恋人になれるか
試してみる？

もちろん貴方が
嫌だと言うのなら

何もしない

嫌ならこの手を
はらって。
でも、もし嫌で
ないのなら—



ル、ルカちゃ...

——そのまま
目を、閉じて。

こういう状況で
断れない性格を

知ってて、私は彼女に
判断をゆだねた。

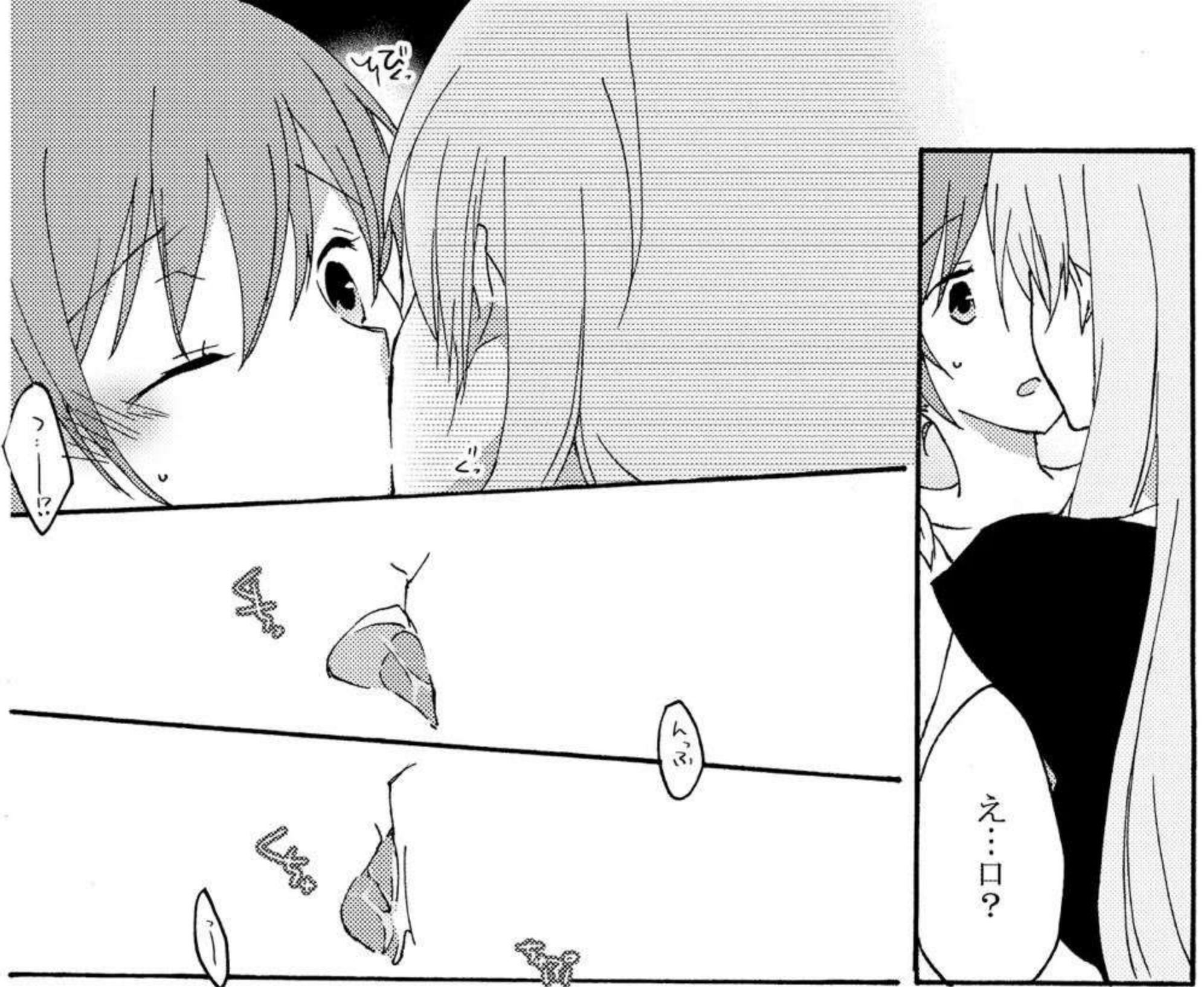


——じゃあ

口あけて

う...うーん
嫌じゃ...ない...
けど...

...嫌だった？



気持ち悪いと
思うでしょう
から

貴方とは
距離を置くわ

えっ

距離を置くと
寂しがる事も
知っていた

私は
———
つけこんだ

そ、そんなこと
思っていないよ

卑怯だと罵られても
構わなかった

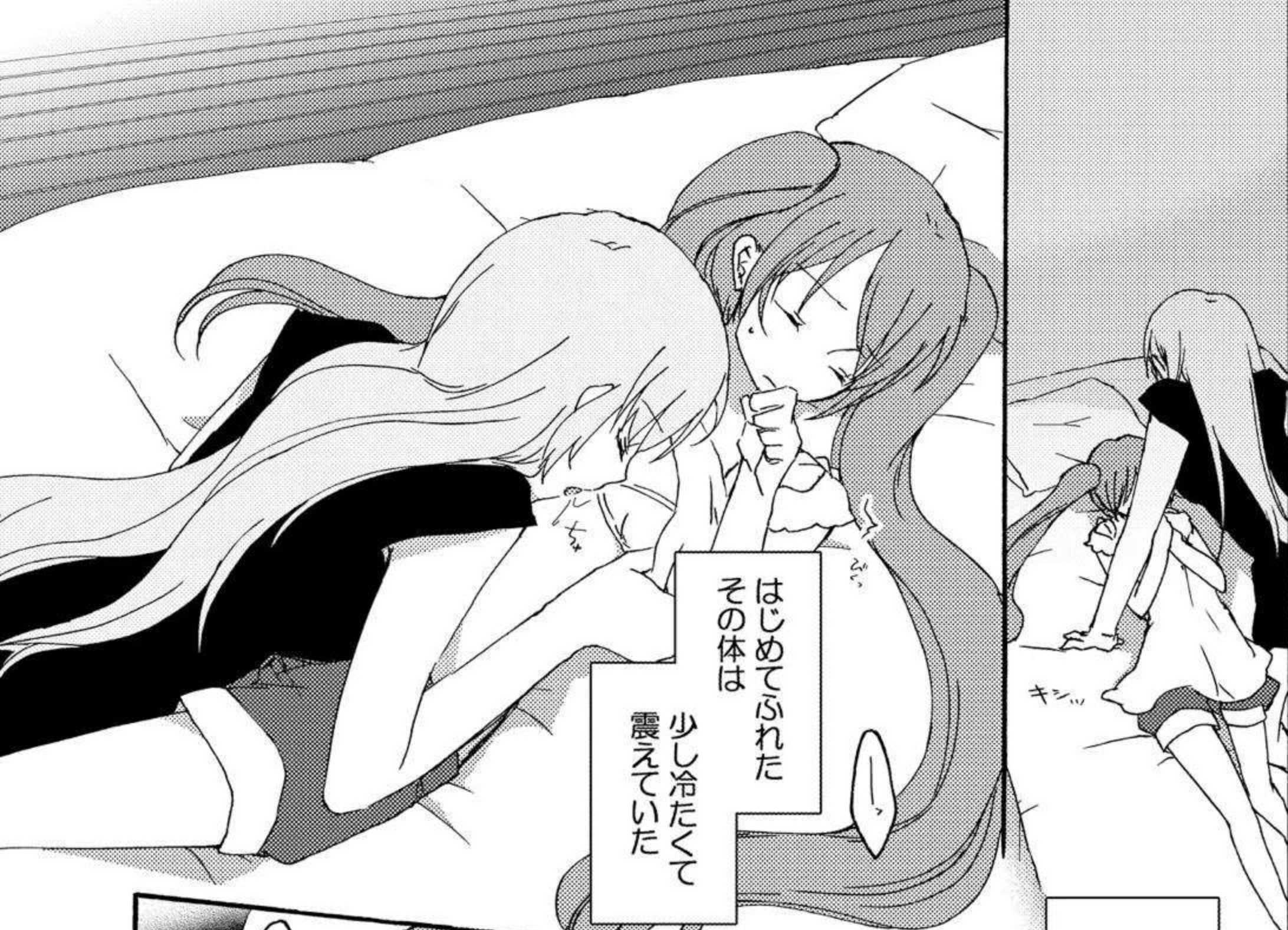
私、できるよ
多分……!

だから……
遠くにいったちや
やだよ

どんな手を使っても
彼女が欲しくて
たまらなくなっていたから。

……本当ね?

うん。



はじめてふれた
その体は
少し冷たくて
震えていた



キシッ



無理もないと思う。
今まで私の事は

そういう対象として
見ていなかったの
だから



自分さえ我慢していれば
丸く収まるよ
思っているかもしれない



—それでも、
もっと彼女の
悦ぶ顔を

見たいと思った

す
び



だめだよ
きたないよ…

え？ええ…



…彼は
してくれなかったの？



もしかして…
そこ…なめるの？



ル、ルカちゃん！？

ううん、
してないよ

？

きょとん

.....

私は...
したけど...

しないといれる時
痛かったし...

まったくひどい男に
つかまったものだ。

——いや今回
限っては好都合かも
しれない

——じゃあ...
やめる??

う、ううん

そう??

ここだけは
はじめてなのだから
感謝し——





ミク……っ



あ……

あ……



あ……

——いけない。彼女への
気持ちを自覚してからは
口にしないようにしていたのに。

呼ぶ度に好きになるようにで
怖かったから……

ん



おははは
おはははは
おははははは
おはははははは

おじいちゃん...

まぢか!

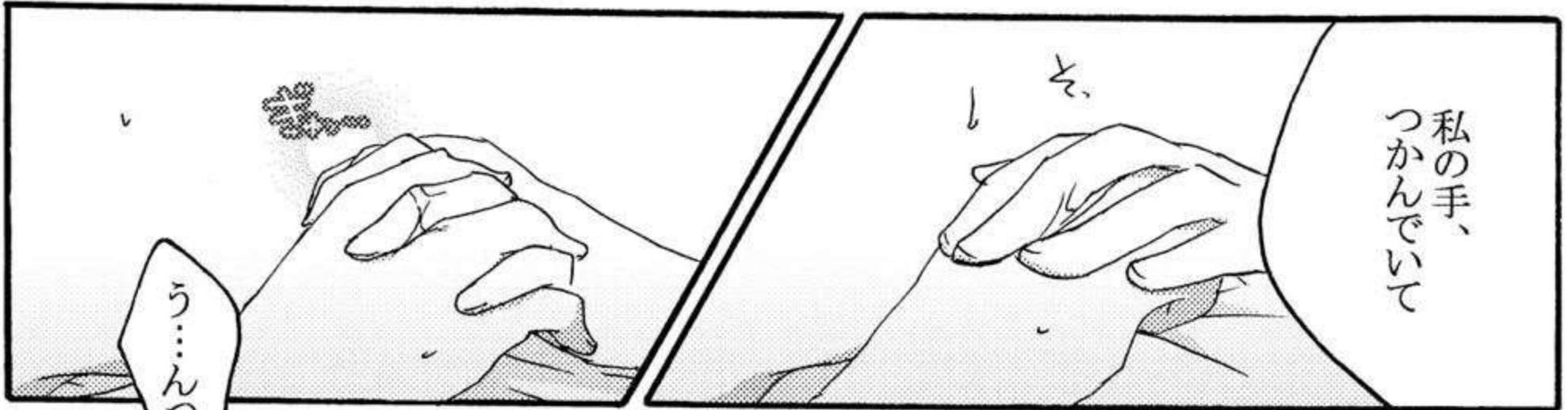


大丈夫
怖くはないわ

元彼氏とやらは
そこまですごいおそろ
くれているからいら

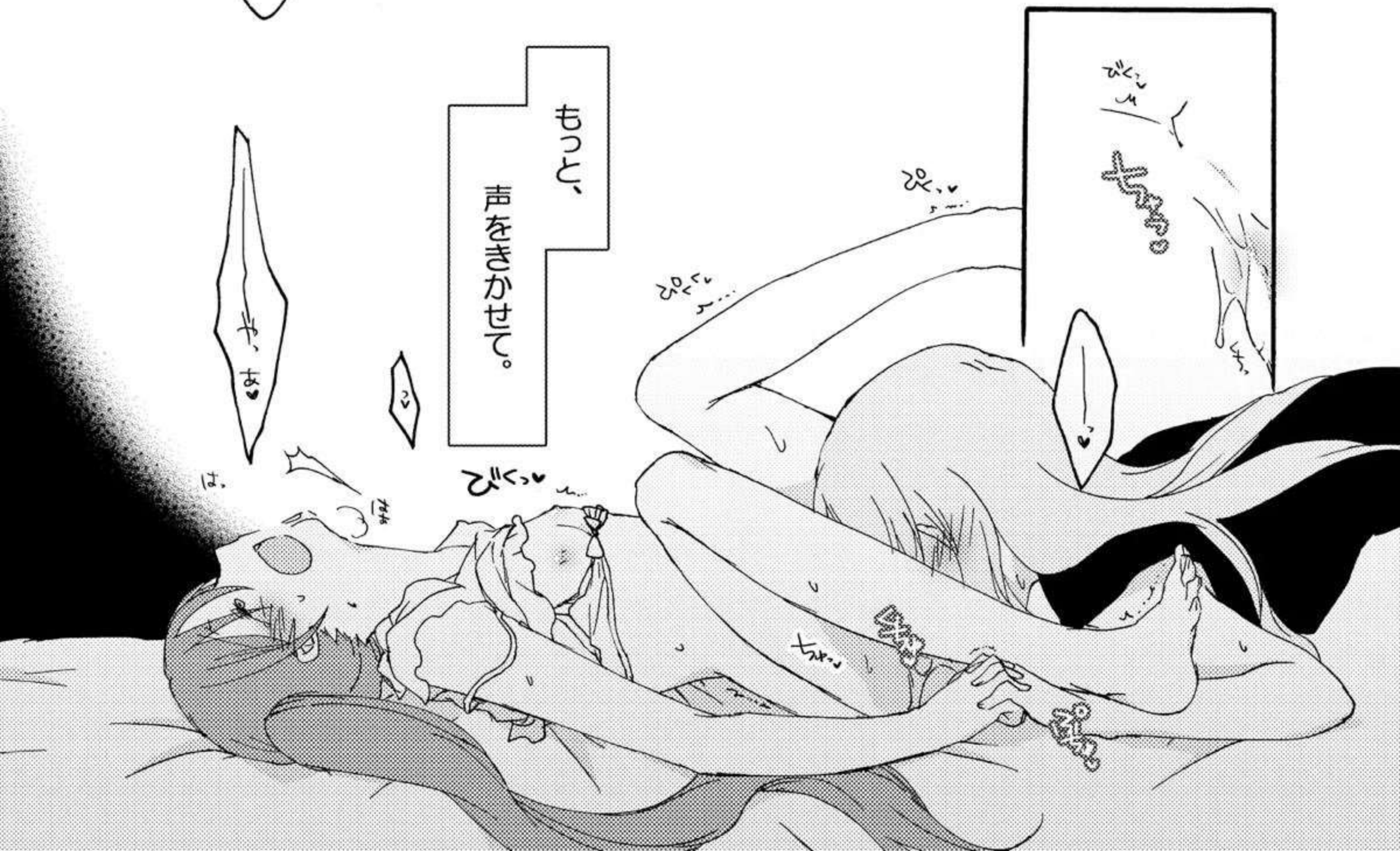
どうやらこれも
はじめてだった
らしい

う……でも……



私の手、
つかんでいて

う……んっ



もっじゅ、
声をきかせて。

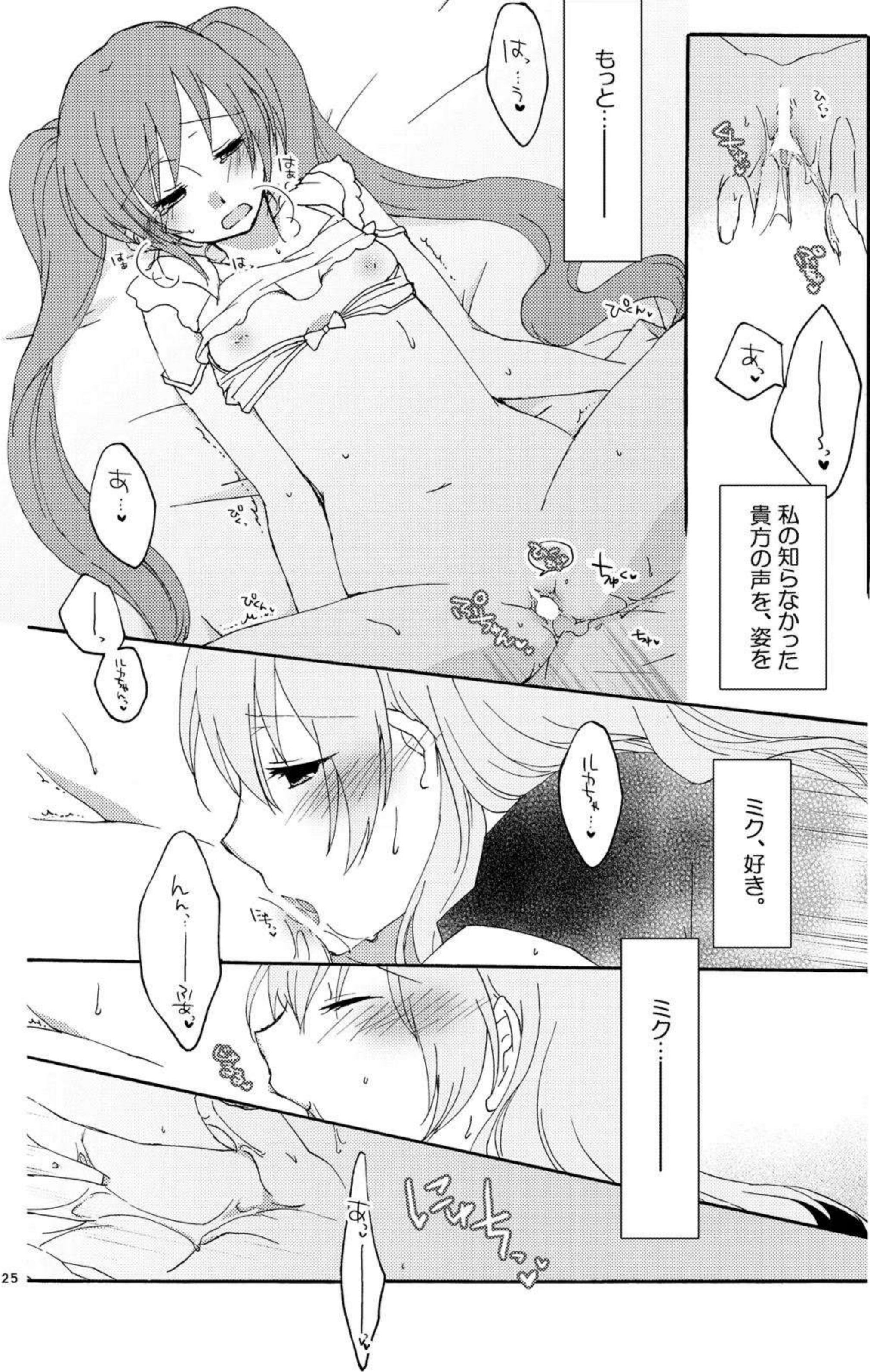
びびり
びびり
びびり

びびり
びびり

びびり

びびり

びびり



私の知らなかった
貴方の声を、姿を

ミク、好き。

ミク……

ミク……

ミク……

ミク……

あ……

ミク……

ミク……

ミク……



達した姿が
あまりにも愛しくて

このまま
帰したくなくなって
しまった

——彼女の



—おやすみなさい

このまま
夜が明けなければいい、と

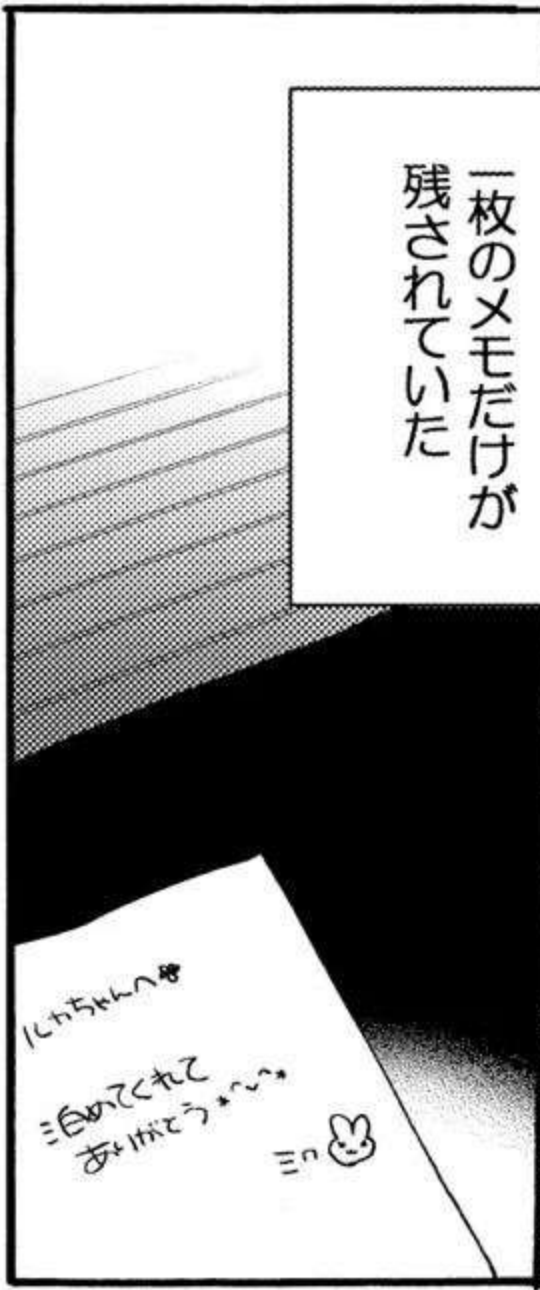
彼女の寝顔を見つめながら
強く、強く、願った——

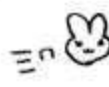


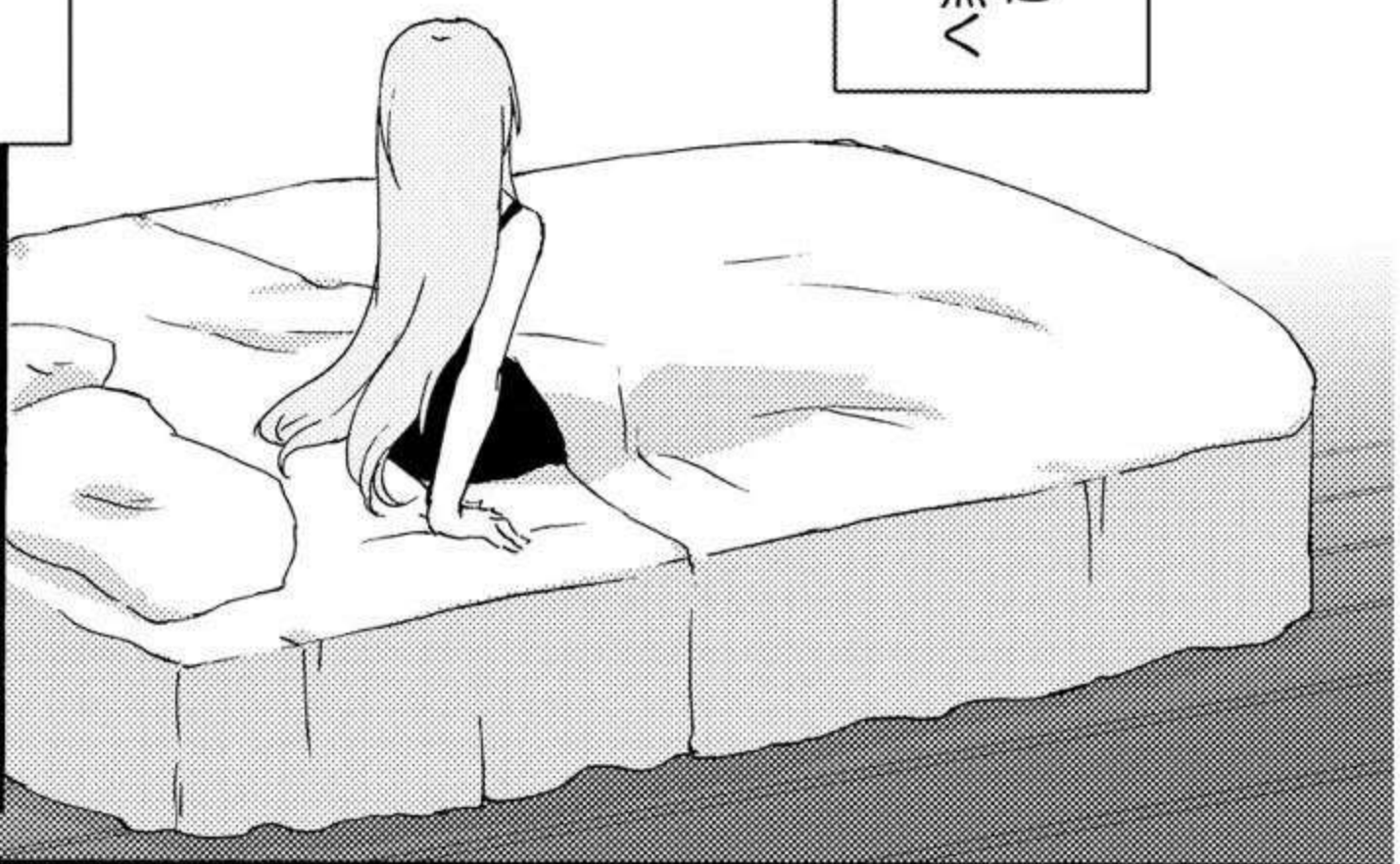
翌日、

目覚めるとそこに
彼女の姿は既に無く

一枚のメモだけが
残されていた



しんちゃんへ
目覚めてくれて
ありがとう
ミコ 



昨晩は
何も無かったかの
ように





.....



「いや、何も無かった」ことになり
したいのだから」

どう頑張っても
結局彼女にとって私は
「幼馴染のお姉さん」
だった、という事だ



！



覚悟はしていたけれど
もしかしたら...もう
...会えないかもしれない



そう思うと
一晩だけでも彼女にふれた
あの家に帰りたくなって

いつもより遅くまで
外に出ていたのだが...



あ、ルカちゃん
おかえりなさい

たまた

どうしたの!?
来るなら連絡
くれればよかつた
のに……!

ごめんね、
でも私が勝手に
待ってた
だけだから……

あ、一緒にご飯
食べようと思って
色々買って
きたんだよ

待つは
待たせ

——とりあえず
入って。

すぐ
開けるから……

ギョ……

ど、どうしたの？

ルカちゃん…

私、家にひとりだと
さみしくて…

彼女が発した
言葉に驚き、

——今日も
泊まっていっても
…いい？

この、状況で自我を
抑えるなんて私には
とても困難で…

貴方…昨日のこと
…覚えてる…
わよね？

—また…私、
多分同じこと
…すると思うわ

ルカちゃんと、一緒にいたい

うん
…いいの



他人から見れば
さぞ理解に苦しむ
状況だと思う



私は彼女に完全に
溺れており、

——また彼女は
「私」ではなく
この「行為」に
溺れているのだろう。



ルカちゃん……

いや、もしかしたら
ただ単に

空いてしまった
心の隙間を埋めたいだけ
なのかもしれない

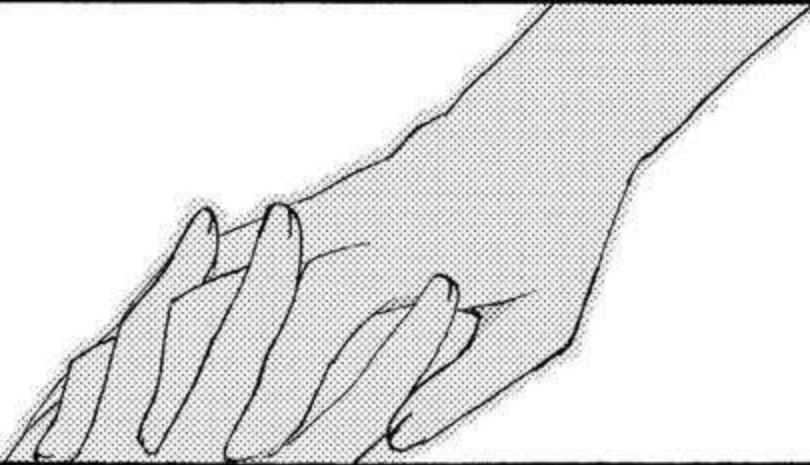
——でも
そんなことはもう
どうでもよくなってしまうた




ルカちゃん

すき

——今はただ、



彼女に
求められること
だけが



幸せなのだから……



ルカちゃん、
パジャマ着せて
くれたんだ…

—あ…そうだ
わたしそのまま
寝ちゃったから



男の人とした時は
痛くて
疲れちゃって…

でもそういうもの
なのかなって
思ってたけど…

さっきの
ルカちゃんのは
全然違った
きもち…よかったな

ふわふわで

遠くへ行くじゃない
そいでちよこじ
こわくて

でも、
つないだ手が
あったかくて

あたまの中が
真っ白になったの



ん…



…ルカちゃん
また大きく
なつたんじゃ
ないかなあ

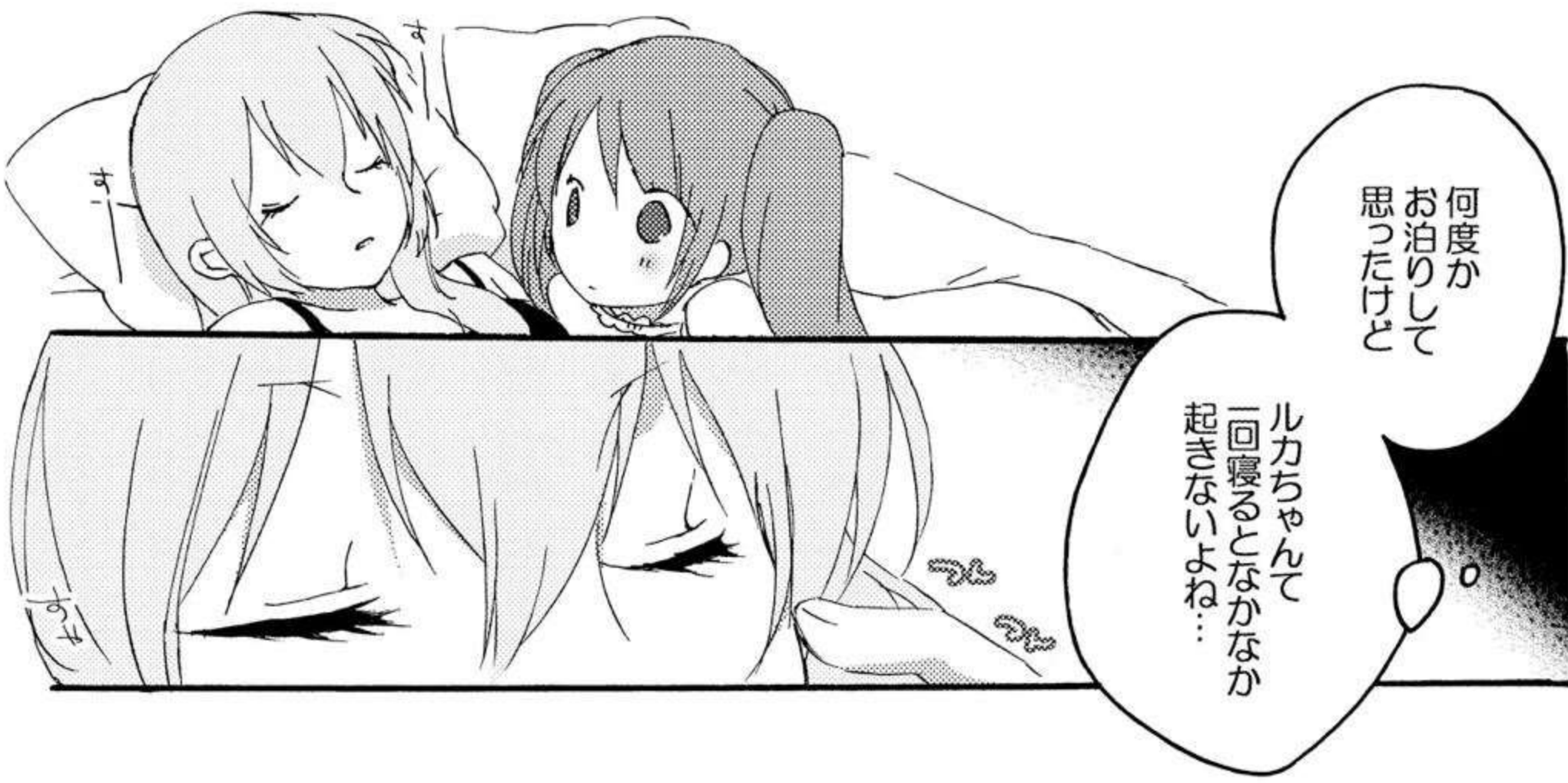


あ…ルカちゃんの
胸の上に
のちやっただ



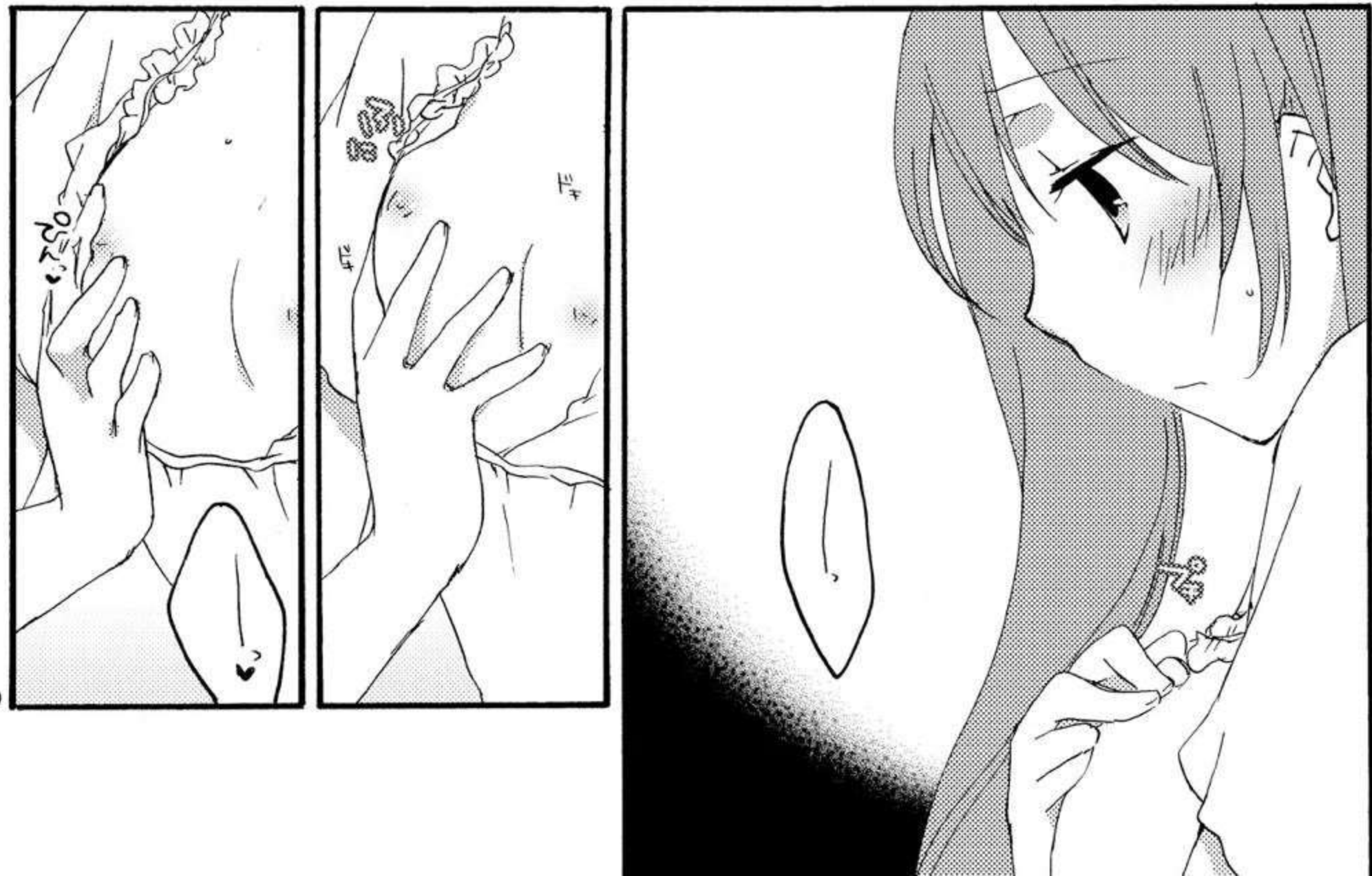
お、起こし
ちやっただ!?

うーん…



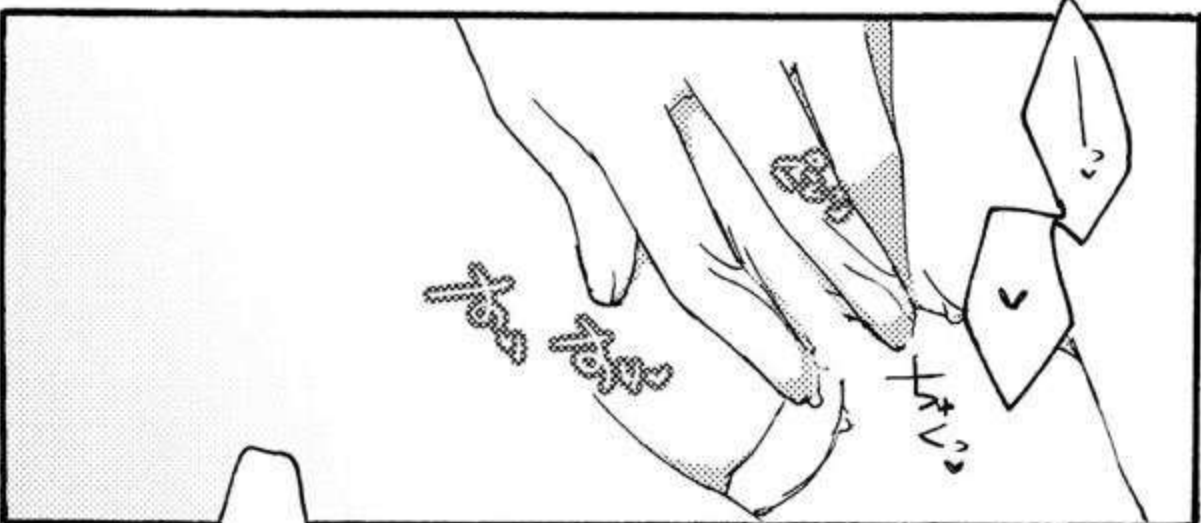
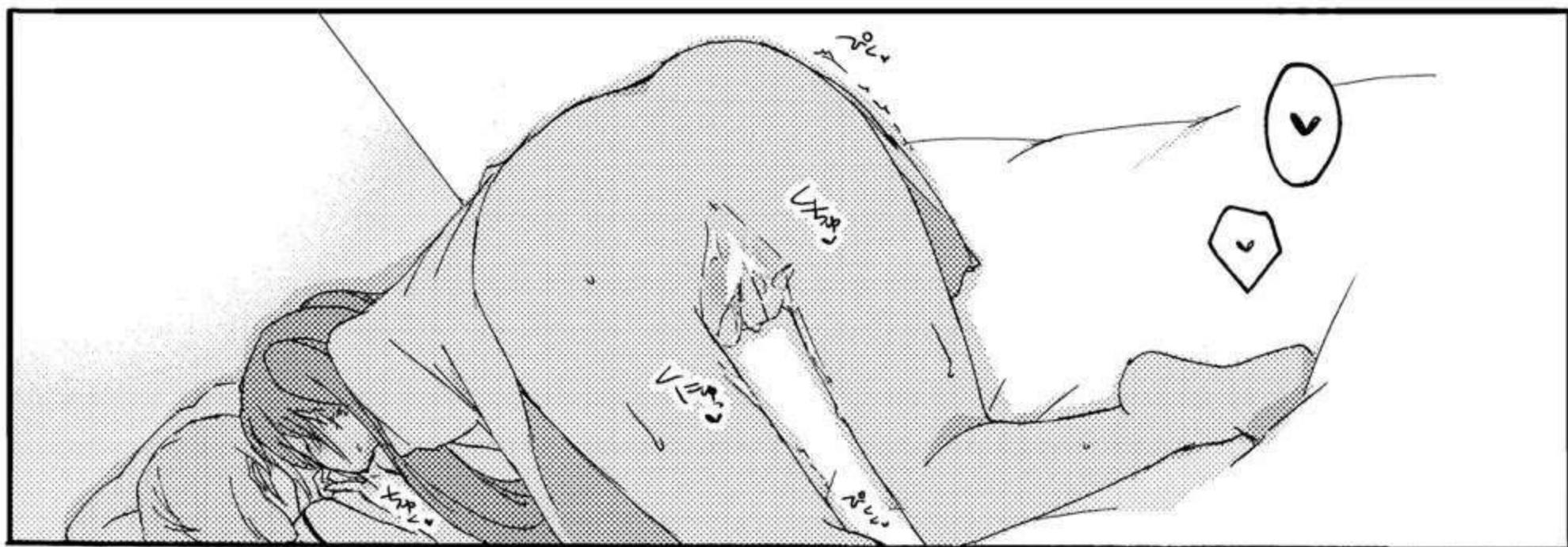
何度か
お泊りして
思ったけど

ルカちゃんて
一回寝るとなかなか
起きないよね…







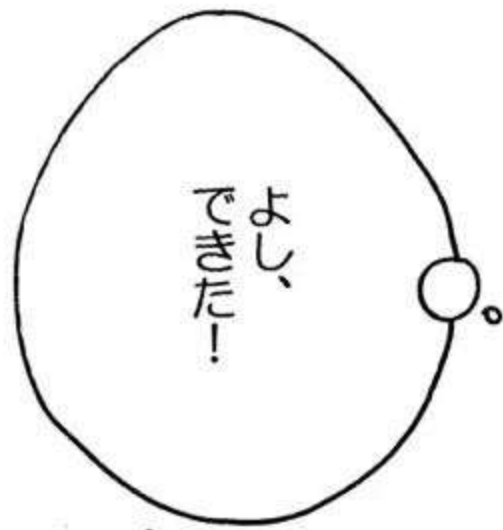




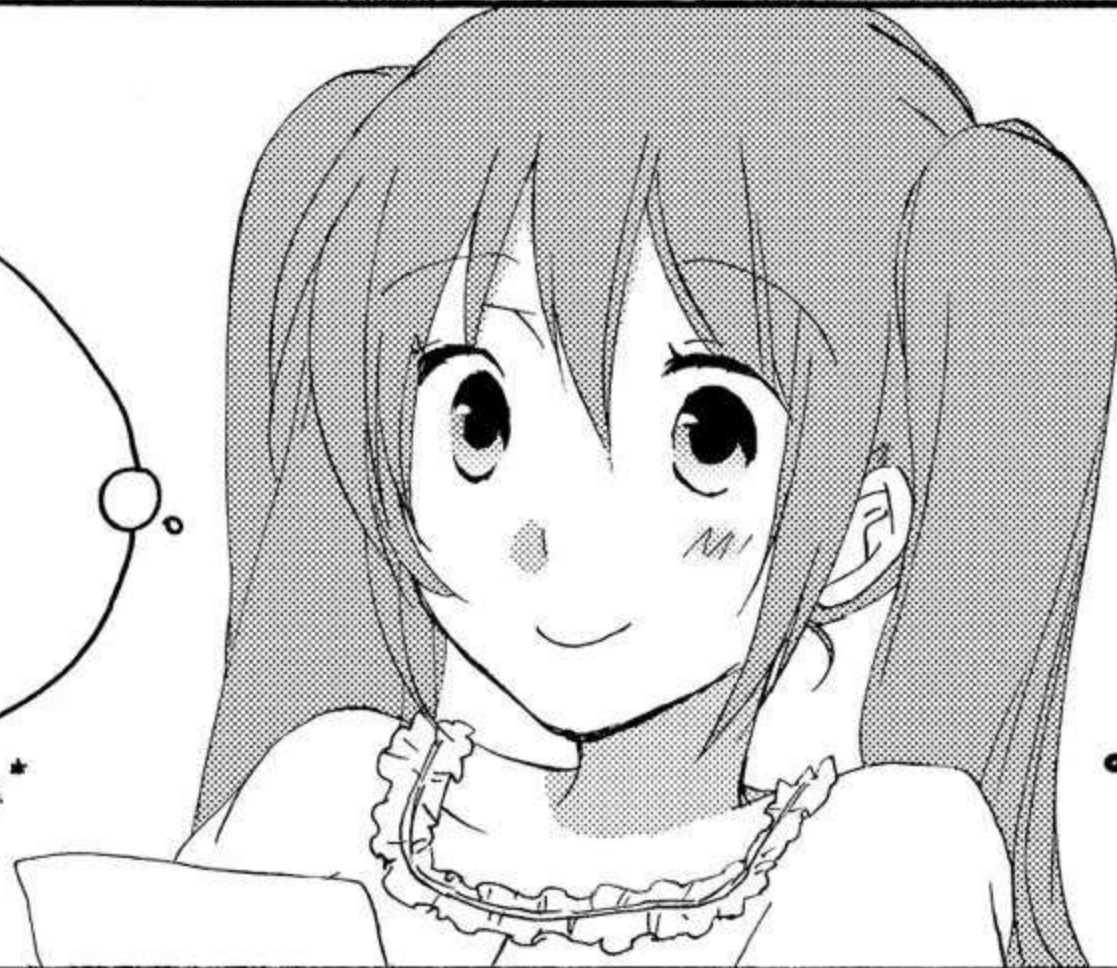


わっ私
何してるんだろっ
か、帰んなきゃ!

あ、そっだ!



よし、
できた!



恥ずかしくて
急いで出て
きちゃったけど

手紙、そっけなく
なっちゃって
ないかな!...

絵もはなし
大丈夫だよ...



さっきの、
ルカちゃん気づいて
ませんよーにっ!



あとがきでございます。

キャッキウフも好きですがわりとこういうのも好きだったりします。
ちょっと新しい方向にチャレンジしてみました…！
好きか嫌いとかだけでもいいので…その感想とか…もらえたらその凄く…嬉しいです////
恋愛における女の子のずるいところみたいなのが
描けてたらいいよね、珍歩たん！

にしてもルカが不憫で本当にすみません…！
今回もいつものように主に珍歩さんがお話を練り練りしたのですが
ずっと二人で「うわああああんルカちゃああん(号泣)と言っていました。
いや…泣いていたのは私だけだったような気がします。
さらに後半の漫画を追加した事により
ルカちゃんはフラグに気づけない残念な子になっちゃいました／(^o^)\きゃー!ルカサーン!!

一応今まで出した本には皆勤賞なルカですがどうも不憫になりがちです。
嫌いとかそんなことは絶対ないのよ!大好きなのよ!!

ここまでお付き合いいただきどうもありがとうございました!
それではまたどこかで^^

2010.10 せきはら海奈



「Trap Box」

2010.10.03 初版
2011.07.17 第五版

にらたま/せきはら 海奈(&珍歩)

印刷:丸正インキ有限会社 様


※18歳未満の方の閲覧/ネットオークション/無断転載、厳禁。

スペシャルサンクス!:すやまさま
いつも大変お世話になってます!! ありがとうございますー!♥

インフォメみたいなもの
「にらたま」ではVOCALOID、プリキュア、ヘタリアなどにて男女カブ・百合などを中心にイラストや同人誌を描いています。サイトにて情報更新しておりますのでよろしければ覗いてみてくださいませ。

URL: <http://haruka.saiin.net/~niratama/>
E-mail: u_sekihara@hotmail.co.jp
pixiv: ID=151361





Trap Box

2010.10/niratama/Sekihara-Umina
For Adult Only!